

こども支援部会 令和6年度活動報告及び令和7年度活動計画

令和6年度活動報告

<p>開催回数 及び開催 日</p>	<p>3回 令和6年6月19日（第1回） 令和6年9月19日（第2回） 令和7年2月18日（第3回）</p>
<p>出席機関</p>	<p>広島県立呉特別支援学校江能分級、障害児相談支援事業所歩歩、児童発達支援事業所歩歩江田島、放課後等デイサービスアーチ、放課後等デイサービスリンク江田島、放課後等デイサービススカイ江田島、放課後等デイサービスおひさま、島の病院おおたに、江田島市教育委員会学校教育課、江田島市福祉保健部子育て支援課、相談支援事業所ユーカリ、障害者相談支援事業所江能、江田島市障害者生活支援センター、江田島市福祉保健部社会福祉課</p>
<p>活動内容</p>	<p>1 江田島市における医療的ケアが必要な方の現状や課題等          (1) 事例1（10歳代、経鼻栄養）          18歳未満の兄弟が、日中の本人の育児を担っていた。本人は必要な医療を受けることはできていた。今後は知的障害の発達の遅れに応じた支援を行うために、継続した訪問やアセスメントをしていく予定だった。R6.12.28逝去。          (2) 事例2（10歳代、気管切開、経管栄養、導尿、喀痰吸引）          兄弟の授業参観や保護者懇談会の時間と、本人の帰宅時間が重なるため、保護者が他のこどもの対応ができない。          ⇒市外の放課後等デイサービスを新たに利用することになり、母親が家族の行事に参加する時間を持つことができた。          江田島市の生活介護事業所で医療的ケア児の受け入れ実績がないため、18歳以降の行き場の確保について検討が必要。</p> <p>2 児童発達支援センターについて          (1) 児童発達支援センター（サテライト型）事業の立ち上げを検討          ア 令和3年度から、つくし園と協議を行い、事業の依頼をする予定であったが、先方から、今は呉市外に手を広げる余裕がないとの返答があり、つくし園での圏域設置は難しいと考えている。          イ 現状を踏まえ、本市ででき得る障害児等の支援について検討を行い、実施した。          ・箱庭療法の勉強会：2回          ・運動療法を用いた教室：2回</p> <p>3 こどもの性教育について          (1) 児童通所事業所職員からの、児童が二次性徴や生理について職員に伝える事は難しく、職員からもどのように声掛けをすべきかわからない中、公の場で性欲のコントロールができない児童もいる、という課題提</p>

	<p>示を受け、性教育に関する研修の機会について検討を行う。</p> <p>教育委員会から、小学校では4年生から保健の授業の中で教科書を用いて学ぶほか、5年生の野外活動や、6年生の修学旅行の前に入浴方法など学ぶ機会を設けていると情報提供がある。</p> <p>支援者側から保護者への対応、生命の大切さからSNSのトラブルまで、様々な課題があることを共有した。</p> <p>(2) 課題共有を受け開催した、令和7年2月18日に「障害があっても豊かに生きるための性教育を学ぼう」と題した講演会について、振り返りを行い、セルフプレジャーを教育として伝えていく必要性を支援者間で共有できた。今後の課題としては、実際に伝える場面を想定し、どのように保護者の理解を得ていくのか、本人の特性や状況に合わせて伝える適任者は誰か、役割分担を考えていく必要がある。</p> <p>4 地域支援システム評価（Q-SACCS）について</p> <p>(1) 広島県発達障害者支援センターから、広島県におけるQ-SACCSの実施状況について説明を受けた。Q-SACCSとは、地域のシステムを可視化するツールのことで、特にインターフェイスと呼ばれる、空白が生まれやすい支援の場と支援の場をつなぐものが見えやすくなる。</p> <p>県内では、安芸高田市を初めに、福山市・庄原市・世羅町・三原市などが取り組んでいる。</p> <p>5 来年度取り組みたいこと</p> <p>(1) 意見</p> <p>ア Q-SACCSの作成により、就学の前後など、支援者が変わって児童のことが把握しづらい時期にも、スムーズに関係機関と情報共有できる仕組みを構築したい。また、作成後も定期的な見直しを検討する必要がある。</p> <p>イ 今年度開催した性教育を次につなげたい。引き続き性教育の研修を受けたい。</p> <p>ウ 支援級と交流級について、こどもたちにネガティブな印象を抱かせず正しく説明する手立てについて考えたい。</p> <p>エ 引き続き、箱庭療法について学び、箱庭セットの有効な活用方法について検討していきたい。</p>
--	---

### 令和7年度活動計画

開催予定	3回（第1回、第2回定例会後、第3回時期未定）
構成員	令和6年度の出席機関に依頼。また、適宜、系列事業所のサービス管理責任者が出席できるようにする。

内容	医療的ケア児協議の場としての報告を続け、課題について協議する。 児童発達支援センターの設置を含め、支援体制の構築について協議する。 Q-SACCSの作成と定期的な見直しを検討する。 こどもの性教育の取組について協議する。 その他必要な課題について協議する。
----	--